

科目名称:発達心理学 I					
担当者名:奥田裕紀					
科目群(区分)	開講予定時期	授業形態	必修・選択	単位数	卒業認定・学位授与の方針との関連
専門展開	2年前期	講義	選択	2	子ども福祉学科(3)
アクティブ・ラーニング実施の有無	実施無し		ナンバリング		24204412
<p>授業概要:障害のある子どもを含む幼児、児童の心身の発達および学習の過程を学習する。また、幼児教育、保育の実践にかかわる心理学の知識を学習し、発達にかかわる心理学の基礎を学び、子どもへの理解を深め、子どもが他者との相互的にかかわりを通して発達していくことを具体的に理解する。生涯発達の観点から発達のプロセスや初期経験の重要性について理解し、幼児教育・保育との関連を考える。個人と環境との相互作用により発達過程が影響されることを理解し、代表的な発達理論に基づいて、生涯に渡る発達過程と発達過程を規定する要因について理解を深める。</p>					
到達目標:授業概要で示した内容について理解・考察し、説明できることを目標とします。					
授業計画			準備学習とその所要時間(分)		
第1回 こどもの発達を理解することの意義、教育・保育の評価と心理学との関連			大学図書館などで、関連図書を選択し、講義内容について自主学習を行うこと(90)		
第2回 発達とは、子どもとは			前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと(90)		
第3回 発達に関する研究の方法			前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと(90)		
第4回 発達と環境			前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと(90)		
第5回 身体的機能、運動機能の発達			前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと(90)		
第6回 知覚と認知の発達			前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと(90)		
第7回 言葉と社会性の発達			前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと(90)		
第8回 感情の発達と自我			前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと(90)		
第9回 愛着、基本的信頼感の獲得			前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと(90)		
第10回 他者とのかかわり、社会的相互作用の基礎			前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと(90)		
第11回 生涯発達と初期経験、発達援助			前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと(90)		
第12回 胎児期及び新生児期の発達			前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと(90)		
第13回 乳幼児期の発達			前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと(90)		
第14回 児童期から高齢期の発達			前回の講義内容を確認し、講義内容について自主学習を行うこと、指示された内容の学習を行うこと(90)		
第15回 まとめ			学習内容について振り返り、まとめておく(120)		
履修に必要な予備知識や技能:大学図書館などで、発達心理学に関する図書を選択し読んでおくこと。					
課題に対するフィードバック:授業内で行った課題については、可能な限り当該授業、次回授業などで解説します。					
評価方法・基準:講義への取り組みの状況(20%)、定期試験(80%)等に基づいて総合的に評価します。					
教科書:教科書は、特に指定しませんが、資料配布などをします。参考書:「幼稚園教育要領解説」文部科学省(フレーベル館)、「幼保連携型認定子ども園 教育・保育要領解説」内閣府、文部科学省、厚生労働省(フレーベル館)、「保育所保育指針解説書」厚生労働省(フレーベル館)					
備考:本科目は、教職課程などに関連する科目であるため、シラバスの基本的な内容を維持します。必要に応じて、Google Classroomやyoutubeなどを用いることがあります。					
実務経験の内容・期間:なし					